



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

⚠️ 近年増加している病気に注意! ⚠️



この症状はどんな病気? ~黒腐病・黒すす病・ピシウム腐敗病~

【黒腐病(Xanthomonas campestris pv. Campestris)】



生育中の全期間発生する。子葉では、先端の凹み部分から黒変し、急速に枯死する。本圃では主に下葉から発生し、葉縁に葉脈から外側に広がるV字形の黄色の病斑を生じる。病斑内の葉脈は暗紫色に変わり、枯死する。被害が激しい場合は、茎まで侵され、**導管部が黒変**する。

【黒すす病(Alternaria brassicicola)】



黒色輪紋が現れ、内側は灰褐色となる。病斑上には同心円状に**黒色ですす状のかび**を生じ、後に全面が黒色になる。主に下葉を侵すが、**結球葉に発生することもある**。高温・多湿時に発生が増加する。種子伝染もするので注意。育苗時は、灌水によって胞子が飛散するので底面給水がおすすめ。

【ピシウム腐敗病(Pythium)】



茎の地際部に、**白色の乾腐症状**が発生。病斑部はややくぼみ、拡大し、茎の周囲を取り巻く**くびれを生じ**、株全体が萎れる。収穫期の茎に腐敗病斑が形成される。幼苗に発生した場合、ほとんどの苗は萎凋、枯死する。**地際の腐敗が進むと軟腐病と見間違えることがあるので注意!**

ピシウム腐敗病対策におすすめ!



ユニフォーム®
ピシウム腐敗病
結球あぶらな科葉菜類 登録
6~9kg/10a 定植当日/1回



IRAC FRAC	対象病害虫	薬剤名	予防	治療	希釈倍数	使用時期	回数
24, M01	黒腐病・黒斑細菌病・軟腐病	カッパーシン水和剤	○	○	1,000倍	7日前	4回
30	ウバ類・コカ・オカバ・コカ・ヨウム・ハセンヨウ・ヨイモシヨウ・アムシ 等	ブロフレアSC	-	-	2,000~4,000倍	前日	3回
7	菌核病	ケンジャフロアブル	○	○	1,500倍	前日	3回
6	タナキ・ウバ類・コカ・ハマダ・ラメカ・ヨウム・ハセンヨウ・アムシ	アフーム乳剤	-	-	1,000~2,000倍	前日	3回
U17	べと病・ピシウム腐敗病	ピシロックフロアブル	○	○	1,000倍	前日	3回
5	コカ・アザミワタ類・ハマダ・ラメカ・ヨイモシヨウ・アムシ・タナキ・ウバ類 等	スピノエース顆粒水和剤	-	-	2,500~5,000倍 (アザミワタ類・ハマダ・ラメカ : 5,000倍)	3日前	3回
M01	軟腐病・斑点細菌病・べと病・黒腐病・黒斑細菌病・ナメタ類	兼商クプロシールド※	○	-	1,000~2,000倍 (軟腐病: 1,000~1,500倍 ナメタ類: 1,000倍)	発病前~ 発病初期	-
28	アブラムシ類・ウバ類・コカ・オカバ・コカ・ヨウム・ハセンヨウ・ヨイモシヨウ 等	兼商ヨーバルフロアブル	-	-	2,500~5,000倍	前日	3回

作物によって対象病害虫や希釈倍率が異なる場合があります。ラベルの確認をしてから使用してください。

※野菜類登録・結球あぶらな科葉菜類

N-Catch

エヌキャッチ

野菜類使用例 50aあたり6.25g(1袋)
葉面散布/1~2回/生育初期

窒素固定細菌Gd(グルコンアセトバクター・ジアゾトロフィカス)
葉から植物体内に入り、空中の窒素を供給します!
窒素不足時に効果を発揮、窒素過多の心配もありません!

酷暑対策に 収穫物の品質向上に 作物の生産性向上に

フルボディ

腐植酸(フルボ酸・フミン酸)→土壌の団粒化
海藻抽出成分配合→根の伸長促進



定植ストレスを軽減・活着促進!

葉菜類使用例 500ml/セルトレイ 灌注 定植前

